

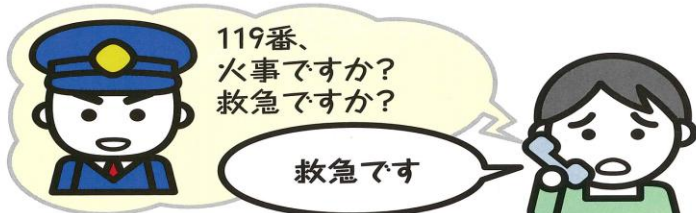
# 半鐘

Vol. 2

消防署では住民の皆さんがいつも健康で日々の暮らしをおくって欲しいと願っていますが、病気やけがなどは突然やってきます。皆さんもいつ救急車を呼ぶことになるかわかりません。そういう時にスムーズに救急車を利用して頂くために救急車の呼び方をご紹介します。

## 救急車の呼び方

119番通報をすると、指令員が救急車の出動に必要なことを、順番にお伺いします。緊急性が高い場合は、すべてお伺いする前でも救急車が出動します。  
あわてず、ゆっくりと教えてください。



119番、  
火事ですか？  
救急ですか？

救急です

### 1 救急であることを伝える

119番通報をしたら、まず「救急です」と伝えてください。

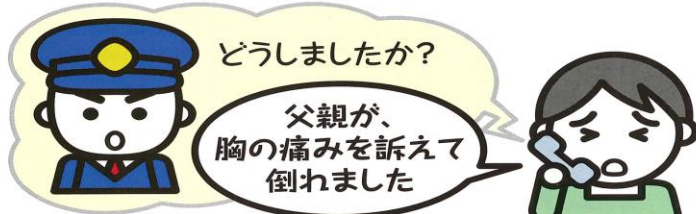


住所は  
どこですか？

〇〇市  
〇丁目〇番地  
です

### 2 救急車に来てほしい住所を伝える

住所は、必ず市町村名から伝えてください。住所が分からない時は、近くの大きな建物、交差点など目印になるものを伝えてください。



どうしましたか？

父親が、  
胸の痛みを訴えて  
倒れました

### 3 具合の悪い方の症状を伝える

最初に、誰が、どのようにして、どうなったと簡潔に伝えてください。また、分かる範囲で意識、呼吸の有無等を伝えてください。

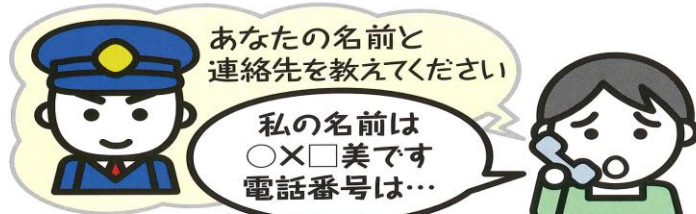


おいくつ  
の方ですか？

65歳です

### 4 具合の悪い方の年齢を伝える

具合の悪い方の年齢を伝えてください。分からない時は、「60代」のように、おおよそでかまいませんので伝えてください。



あなたの名前と  
連絡先を教えてください

私の名前は  
〇×□美です  
電話番号は…

### 5 あなたのお名前と連絡先を伝える

あなたのお名前と119番通報後も連絡可能な電話番号を伝えてください。場所が不明な時などに、問い合わせることがあります。

※その他、詳しい状況、持病、かかりつけ病院等について尋ねられることがあります。答えられる範囲で伝えてください。

※上記に示したものは一般的な聞き取り内容です。

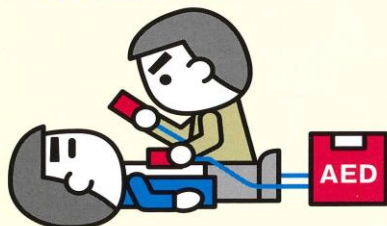


## 救急通報のポイント

救急車を呼ぶときの番号は「**119番**」です。

救える命を救うためには、**応急手当**が重要です。  
応急手当が必要な場合は、消防署から電話で指示されます。

救急車が到着するまではどうしても時間がかかります。  
いざというときに、大切な方を救うためにも、**正しい応急手当**を身につけておきましょう。



お近くの消防署では**応急手当の講習**を行っています。  
消防署の電話番号は、2-2119です。



平均7.9分  
(平成21年中)

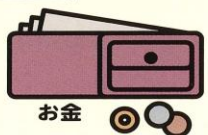


応急手当をしている人以外にも  
人手がある場合は、  
**救急車の来そうなところまで案内**に出ると  
到着が早くなります。



救急車を呼んだら、**こんな物を用意しておく**と便利です。

- ・保険証や診察券
- ・お金
- ・靴
- ・普段飲んでいる薬  
(おくすり手帳)

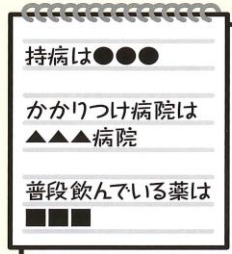


- (乳幼児の場合)
- ・母子健康手帳
  - ・紙おむつ
  - ・ほ乳瓶
  - ・タオル



救急車が来たら、**こんなことを伝えて下さい**。

- ・事故や具合が悪くなった状況
- ・救急隊が到着するまでの変化
- ・行った応急手当の内容
- ・具合の悪い方の情報  
(持病、かかりつけの病院やクリニック、  
普段飲んでいる薬、医師の指示等)



\* 持病、かかりつけの病院  
やクリニックなどは、  
日頃からメモにまとめて  
おくると便利です。

ここまで、救急車の呼び方や通報のポイントをご紹介いたしました。救急車は場所と氏名が確認できた時点で出動します。皆さんからお聞きする詳細な通報内容は無線や電話で救急隊に報告します。皆さんからの情報提供が救急活動方針の決定や処置の判断に役立っています。救急車は119番通報の電話を切らなくても既に出動しておりますので、落ち着いて消防署員の質問に答え、救急活動が円滑に進むよう皆さんのご協力をお願い致します。